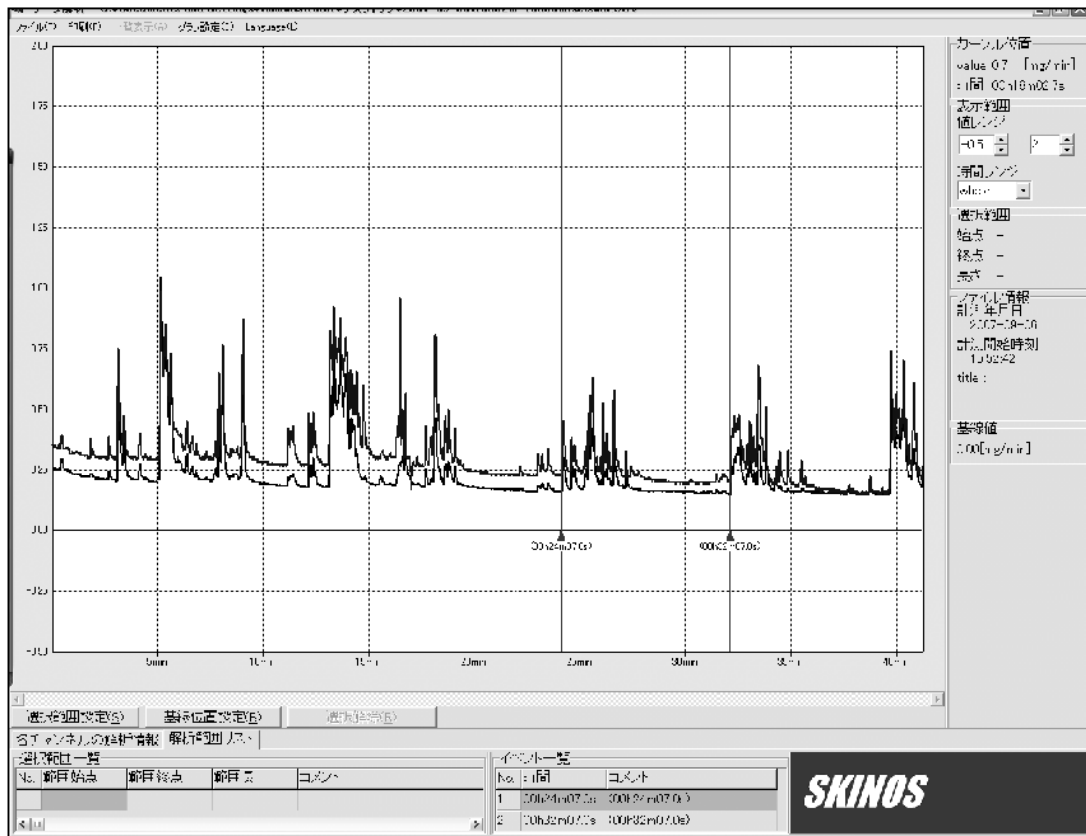


計測解析ソフトウェア

取扱説明書



SKINOS LIVE+PLUS

目次

I.	インストール	20
II.	データの記録	23
III.	データの解析	29

．インストールと起動

SKN-2000 はデジタル信号出力機能を持っているため、パソコンと本体を直接つなぐことで、本ソフトウェア上での記録・解析ができます。

インストール

ご使用前に以下の手順でソフトウェアのインストールを行ってください。

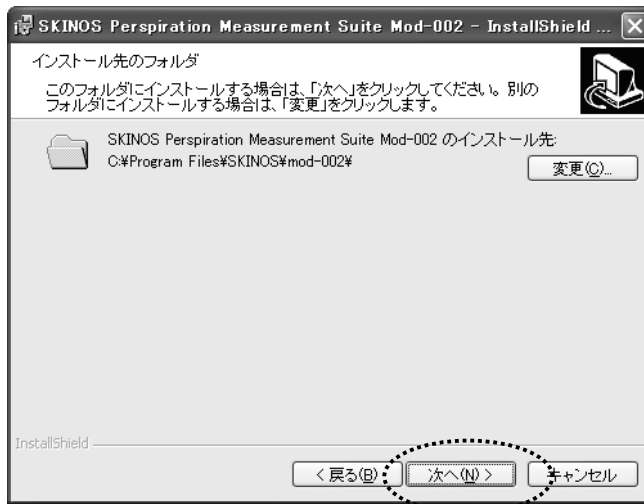
付属の CD をパソコンに入れ、setup フォルダ内 setup.exe を起動します。



次へをクリックします。



次へをクリックします。



インストールをクリックします。



インストールが行われます。下図のメッセージが表示されたら完了をクリックします。

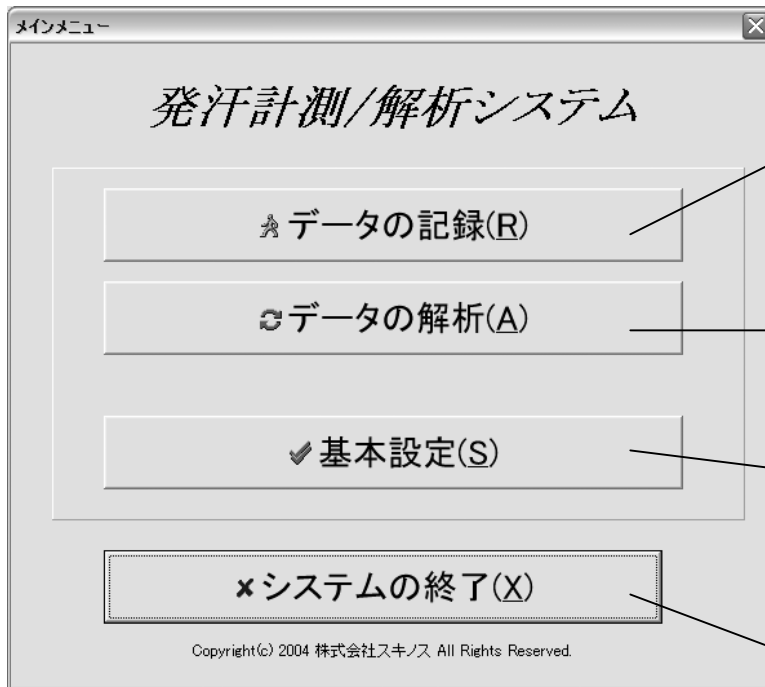


起動と初期画面

生体計測ソフトウェア Mod-002 を立ち上げます。



をダブルクリックすると下の初期画面が表示されます。



データの記録を行う場合は
ここをクリックします。

・データの記録参照

データの解析を行う場合は
ここをクリックします。

・データの解析参照

言語の設定、グラフ色の設
定を行います。

終了します。

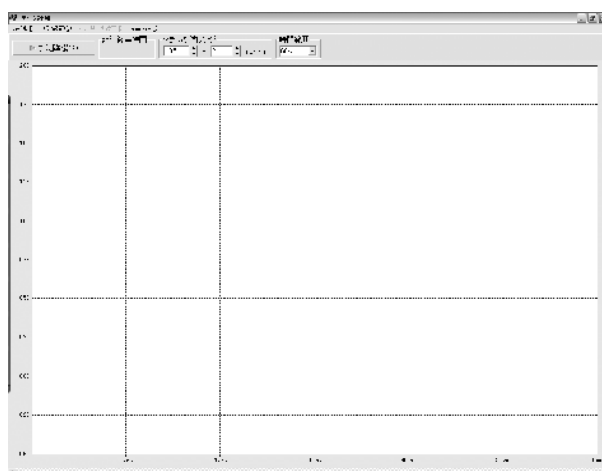
. データの記録

計測開始手順

初期画面にて、データの記録をクリックすると、下の画面が表示されます。

パソコンのシリアルポート (RS-232C) に SKN-2000 のデジタル出力を接続し、電源を入れます。シリアルポートの無いパソコンをご使用の場合は、USB-シリアル変換機をご使用ください。

▶ 計測準備(S) をクリックします。



パソコンに SKN-2000 が認識されると、下の画面が表示されます。

入力機器名が“SKADRC100ms”となっていることを確認します。

サンプリングレート選択します (100ms、500ms、1s から選択可)。

チャンネル数を選択します。SKN-2000 をご使用の場合、チャンネル数は1か2です。

チャンネル数 “ 1 ” を選択した場合 : SKN-2000 の CH1 の値を表示

チャンネル数 “ 2 ” を選択した場合 : SKN-2000 の CH1 及び CH2 の値を表示

チャンネル数 “ 3 ” 以上を選択した場合 : SKN-2000 の CH1 及び CH2 の値を表示

それ以外のチャンネルは無効データ

計測開始(S) をクリックします。



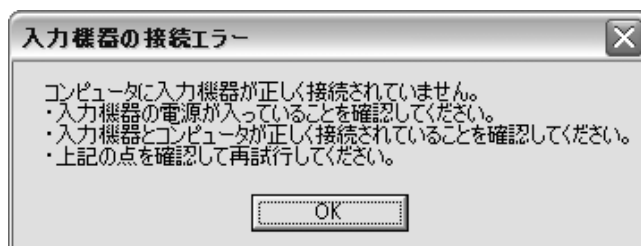
測定が開始され、測定値が表示されます。

計測開始時のトラブルと対処法について

測定開始時(▶計測準備(S) をクリックした時)に以下の現象が出る場合、パソコンと SKN-2000 との間でのデータ通信が正常に行われていない可能性があります。

[現象]

- ・ 入力機器名が“SKADRC100ms”でない。
- ・ 下図の画面が表示される。



この場合、以下の対応をしてください。

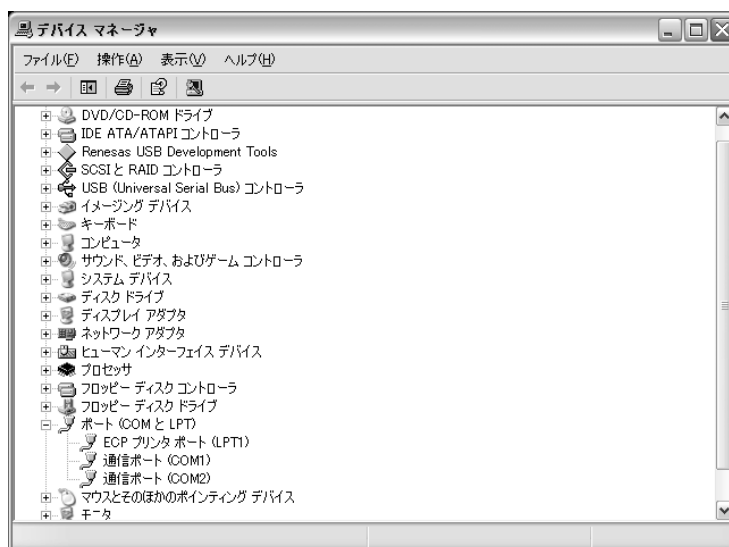
[対応]

接続を確認し、もう一度 ▶計測準備(S) をクリックしてください。

一度ソフトウェアを終了し、SKN-2000 の電源を切ってください。再度ソフトウェアを起動し、SKN-2000 の電源を入れてから ▶計測準備(S) をクリックしてください。

特に、USB-シリアル変換器をご使用の場合、通信可能なポートが存在しない場合があります。「マイコンピュータ(右クリック) プロパティ ハードウェア デバイスマネージャ」をクリックしてください。下図のような画面が表示されます。

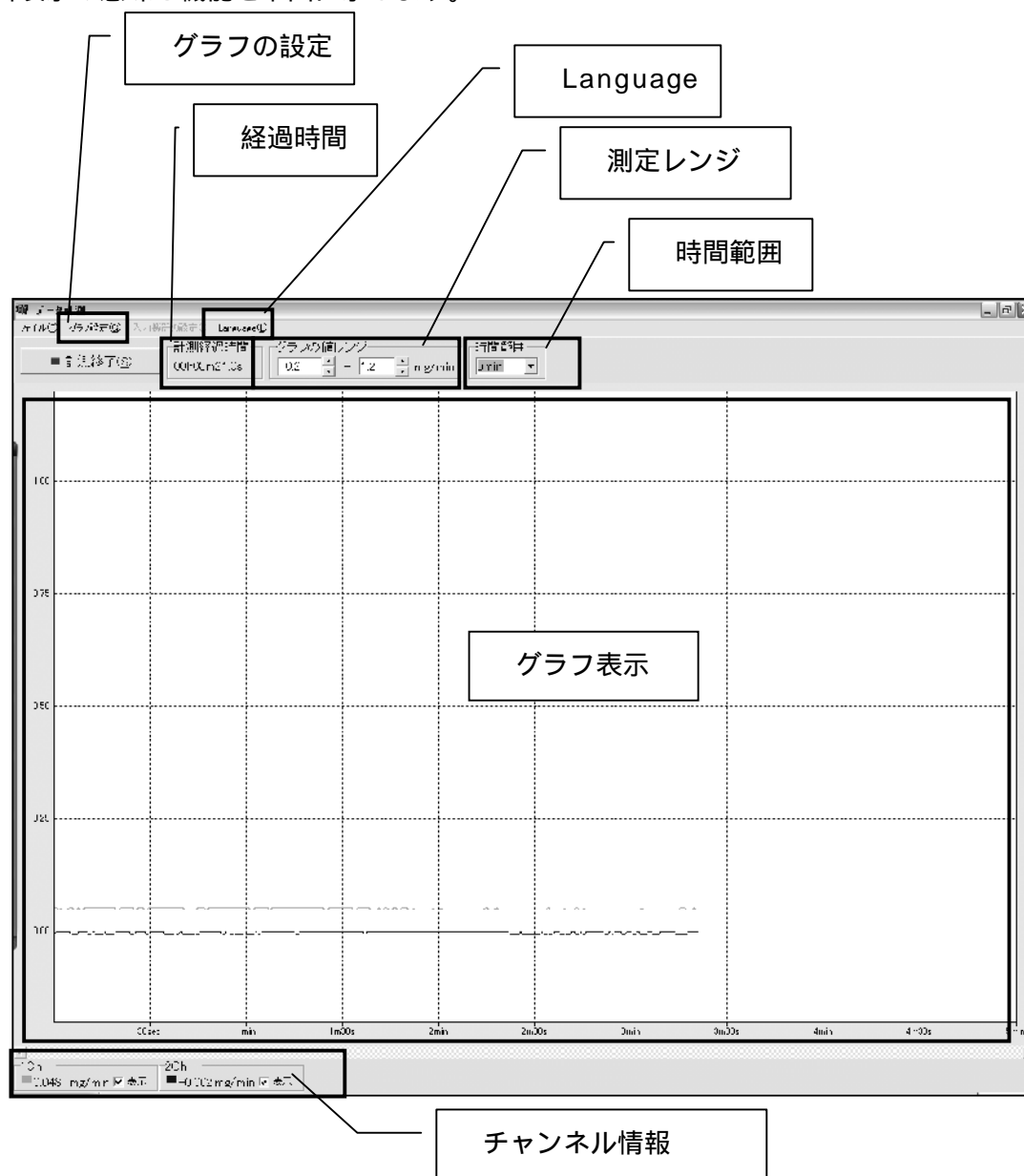
「ポート(COMとLPT)」を開き、SKN-2000 を接続しているポートがCOM0~COM4のいずれかであることを確認してください。それ以外の場合は、「プロパティ ポートの設定 詳細設定」から COM ポートの番号を変更するか、接続しているポートを変更してください。使用可能な COM ポートが無い場合は、ポートの増設を行ってください。



それでも改善しない場合は、販売元にご連絡ください。

計測画面表示の見方と機能

各表示の意味と機能を下図に示します。



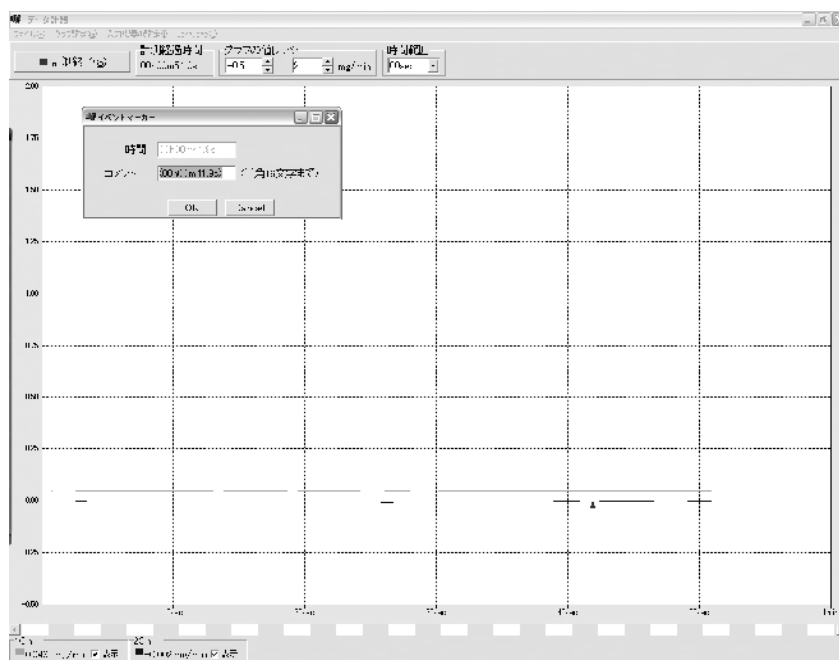
- | | |
|----------|---|
| グラフ表示 | : 測定値を時間軸上に表示します。 |
| チャンネル情報 | : そのときの測定値を表示します。
また、各チャンネルの表示 / 非表示、グラフ色の変更ができます。 |
| 時間範囲 | : グラフ表示の時間軸の幅を変更します。 |
| 測定レンジ | : グラフ表示の縦軸幅（最大値と最小値）を変更します。 |
| 経過時間 | : 測定開始時からの経過時間を表示します。 |
| グラフの設定 | : グラフの太さを変更します。 |
| Language | : 言語の選択を行います。（日本語、English） |

イベントマーカ機能

測定中にイベントマーカを挿入することができます。イベントマーカの挿入時間は本ソフトウェアでデータの解析をする時に確認できます。

[イベントマーカの挿入方法]

測定中にキーボードの Enter をクリックすると、イベントマーカの画面が表示されます。



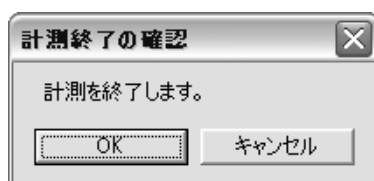
半角 16 字までのコメントを入力します。

“ OK ”をクリックすると確定できます。このイベントマーカを保存しない場合は“ キャンセル ”をクリックしてください。

計測終了とデータの保存

計測を終了する場合、 をクリックします。

計測終了の確認メッセージが表示されます。“ OK ”をクリックします。計測を続行する場合は“ キャンセル ”をクリックします。



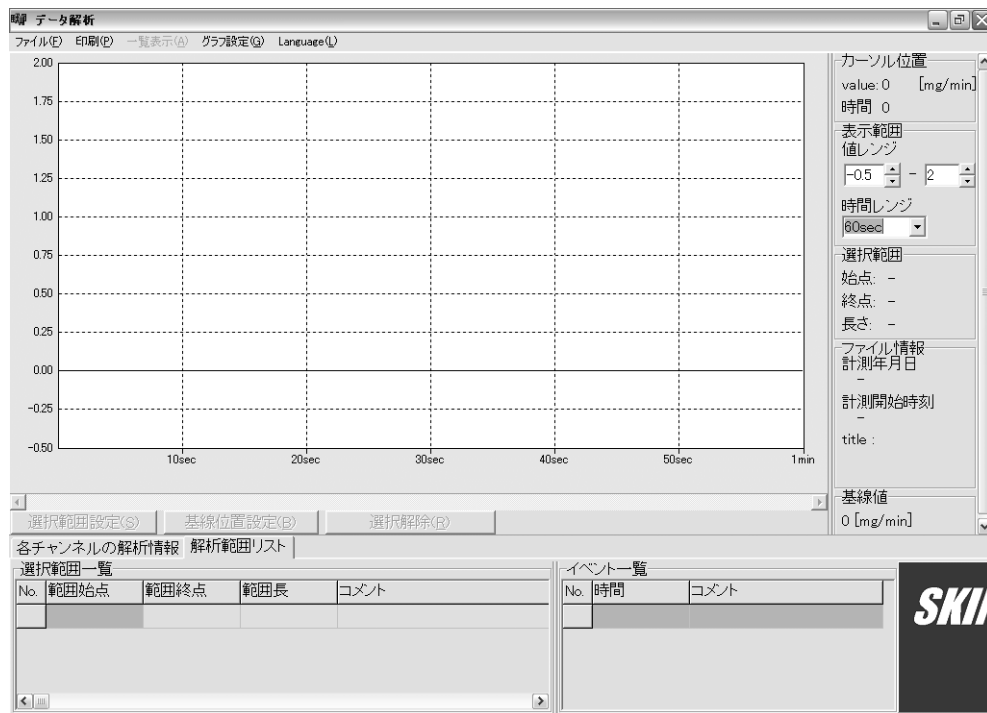
データの保存画面が表示されます。保存場所を選択し“ 保存 ”をクリックしてください。保存をしない場合は、“ キャンセル ”をクリックしてください。

一度 “ キャンセル ” を押してしまうと、データの保存ができませんのでご注意ください。



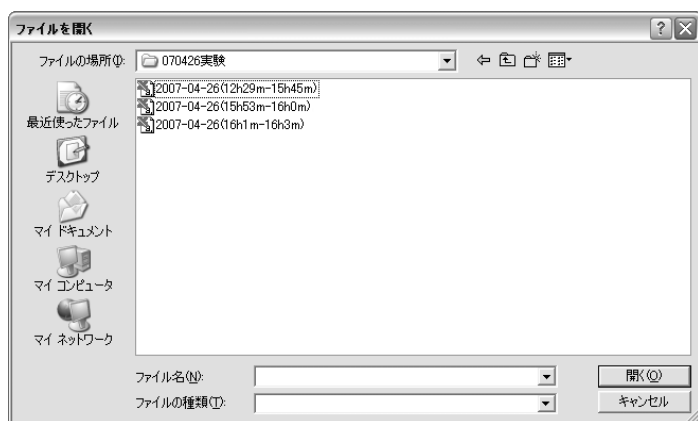
解析を始める

初期画面にて、データの解析をクリックすると、下の画面が表示されます。



まず、解析をしたいファイルを開きます。

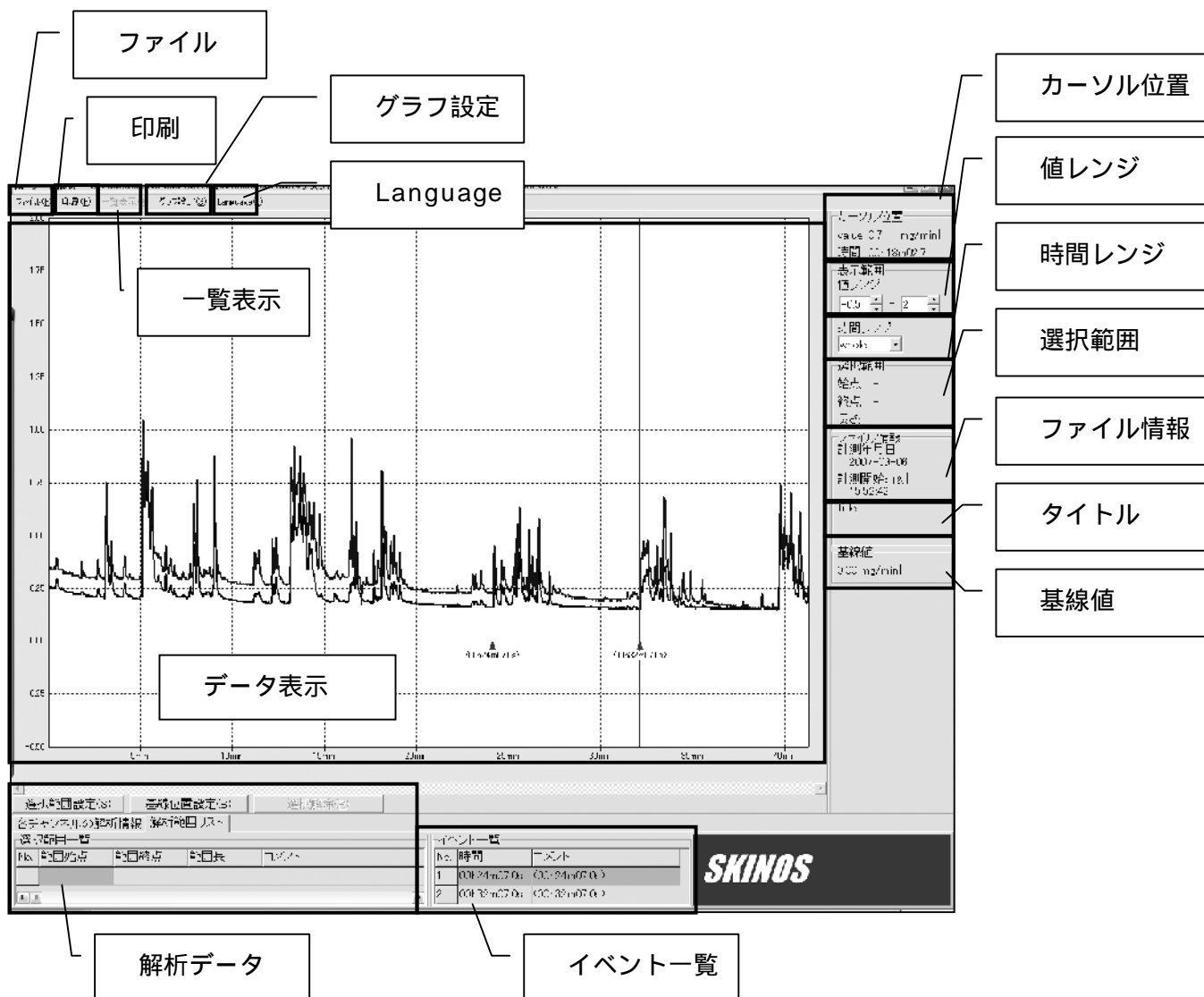
「ファイル(F) ファイルを開く」を選択します。別画面が表示されますので、保存したフォルダを選択し、ファイルを開いてください。



. データの解析

解析画面表示の見方と機能

各表示の意味と機能を以下にまとめます。



データ表示領域： 解析中のデータが表示されます。 値レンジや 時間レンジを変更することで表示範囲を設定できます。

カーソル位置： カーソル（マウスポインタの位置）を表示します。

値レンジ： 縦軸幅（最大値と最小値）を変更します。

時間レンジ： 表示時間間隔を変更します。

選択範囲： 設定した解析範囲を表示します。（ 解析する参照）

ファイル情報： 測定を開始した年月日、時間を表示します。

タイトル： 設定したタイトルを表示します。（ タイトルをつける参照）

基線値： 設定した基線値を表示します。（ 基線を設定する参照）

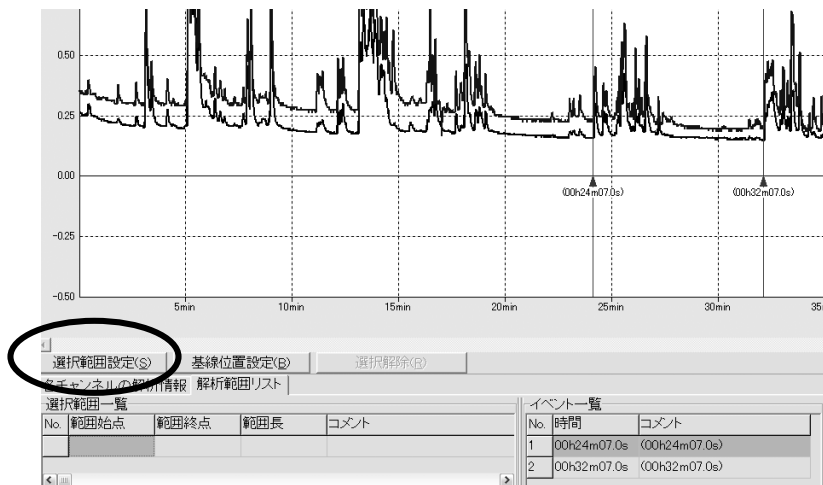
イベント一覧： 計測時に挿入したイベントマーカを表示します。

- 解析データ : 解析データの作成、編集、表示を行います。(解析する参照)
- ファイル : ファイルを開いたり、保存したりします。
- 印刷 : 解析データを印刷します。(印刷する参照)
- 一覧表示 : 解析範囲を一覧で表示したり、印刷したりします。
- グラフの設定 : グラフ線の太さを変更します。
- Language : 言語を変更します。

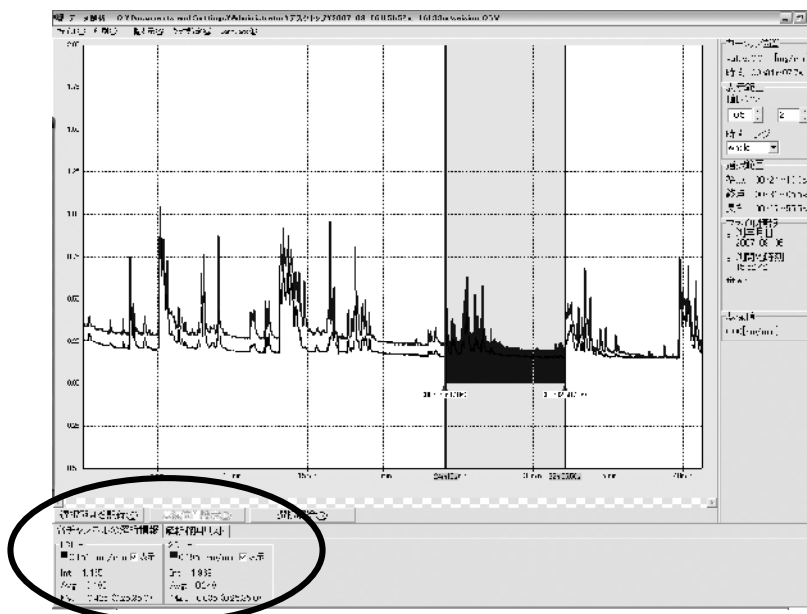
解析する

本ソフトウェアは、選択範囲の積算、平均、最大値を算出する機能を持っています。以下に解析の手順をまとめます。

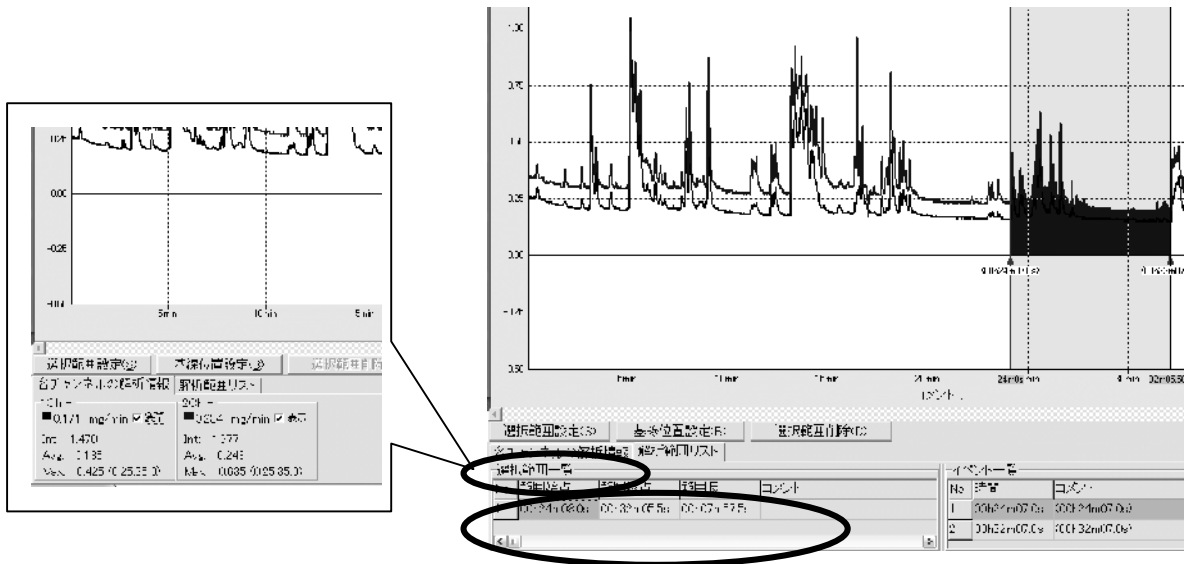
- 1. 「選択範囲の設定」をクリックします。



- 2. 選択範囲を指定します。データ表示領域で始点をクリックし、それから終点をクリックします。すると、選択範囲が塗りつぶされ、選択範囲の積算、平均、最大値が表示されます。



- ・ 「選択範囲を記録」をクリックすると、選択範囲が保存されます。
- ・ 選択範囲を保存後、その範囲を見る場合は、「解析範囲リスト」の「選択範囲一覧」から選択範囲を選びます。選択範囲の積算、平均、最大値を見るときは、この後に「各チャンネルの解析情報」をクリックしてください。

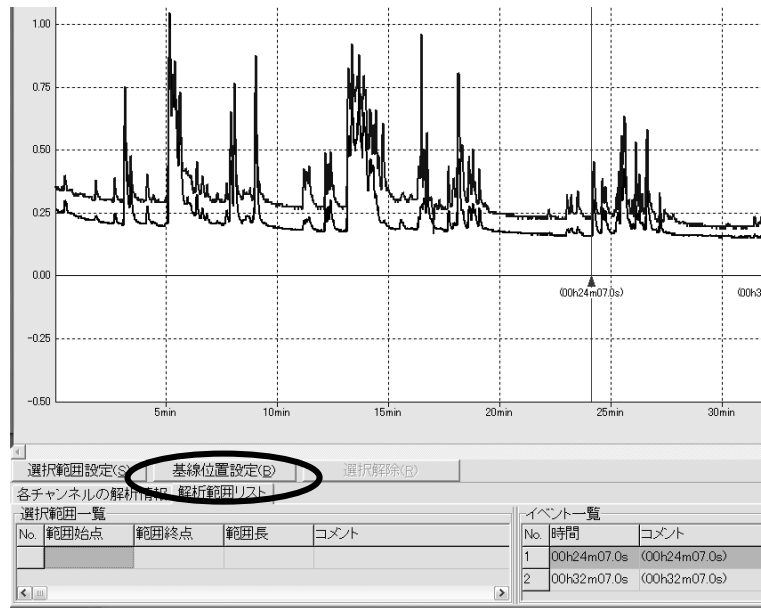


- ・ 他の範囲を解析する場合は、.1に戻ってこの手順を繰り返します。
- ・ 選択した選択範囲が不要な場合、「解析範囲リスト」の「選択範囲一覧」から選択範囲を選び、「選択範囲解除」をクリックします。選択範囲を解除すると「解析範囲リスト」の「選択範囲一覧」から選択範囲が無くなります。

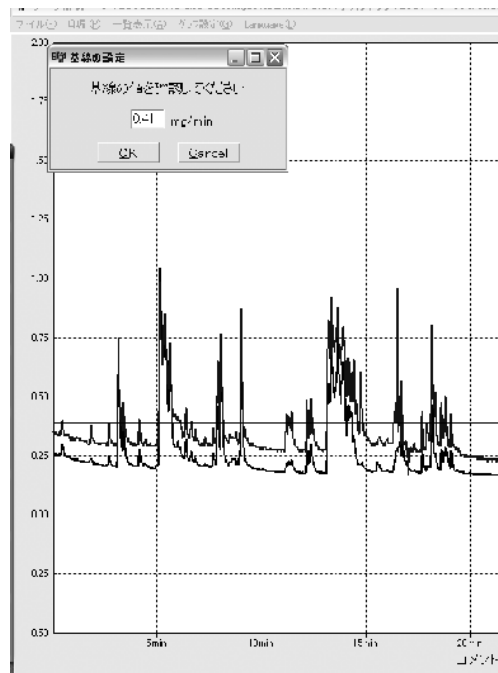
基線を設定する

基準となる値（オフセット値）を設定し、その値以上の範囲で解析する場合、以下の手順で基線を設定してください。基線値の設定は一つのデータに対し一つの値です。

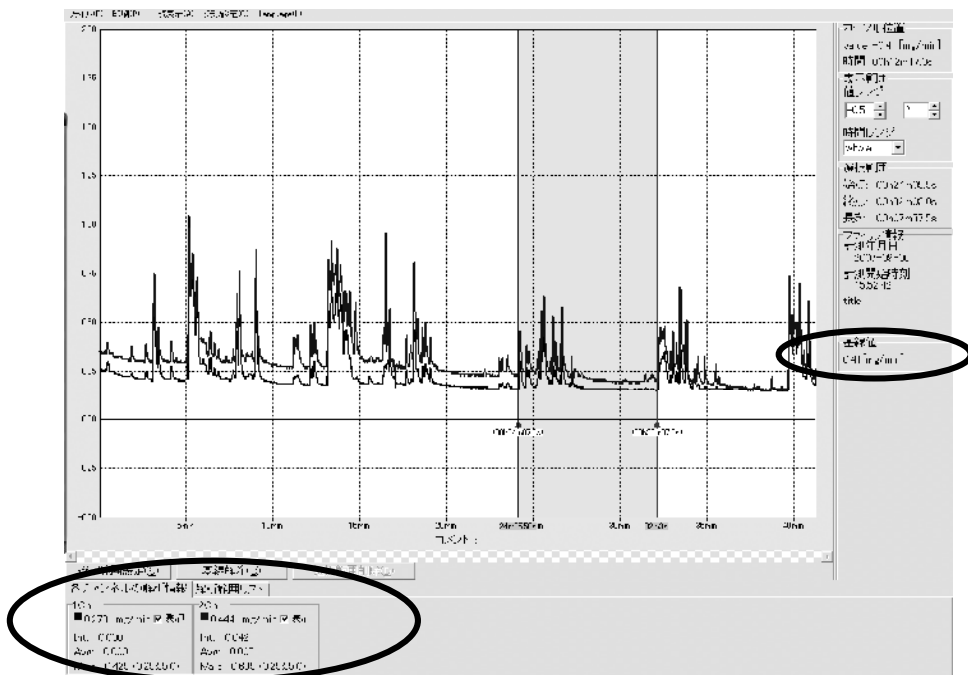
- ・ 基線位置設定をクリックします。



基線を設定したい値にカーソル(マウスポインタ)をおき、クリックします。すると、基線の設定画面が表示されます。基線の値を確認し、値を変更したい場合は、キーボード入力して「OK」をクリックします。



基線値に設定した基線値が表示されます。
「各チャンネルの解析情報」を見ると、基線値以上(塗りつぶされた部分)の積算値、平均値が表示されます。最大値は、基線設定に影響されません。

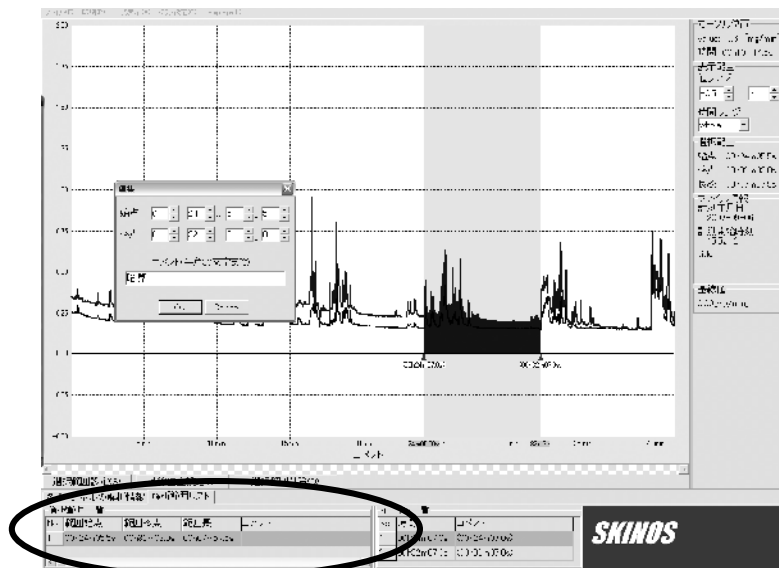


- ・ 基線を解除する場合は、「基線解除」をクリックしてください。基線を解除すると、解析結果も元に戻ります。

解析範囲を編集する

解析範囲の調整や解析範囲にコメントをつけます。

- ・ 「解析範囲リスト」の「選択範囲一覧」から、編集したい解析範囲をダブルクリックします。編集画面が表示されます。

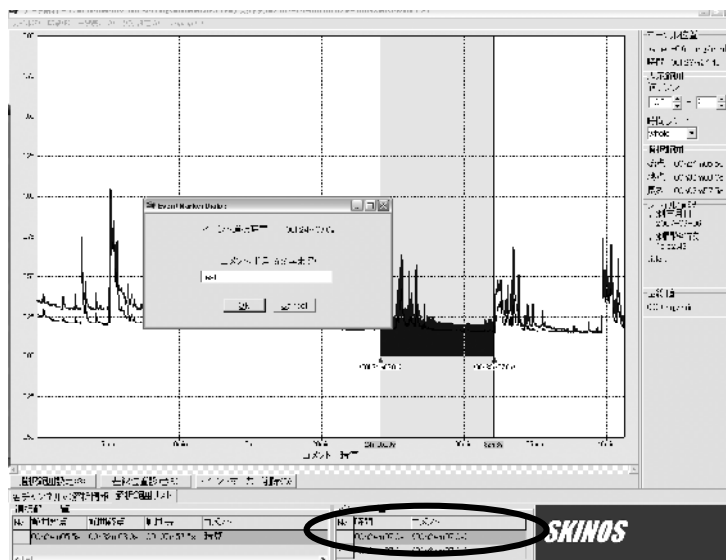


- ・ 解析範囲の調整や解析範囲にコメントを入力し、「OK」をクリックしてください。解析範囲が変更され、コメントが追加されます。

イベントマーカーを編集する

イベントマーカーにコメントをつけます。

- 「イベント一覧」からコメントを付けたいイベントマーカーをダブルクリックします。イベントマーカー編集画面が表示されます。

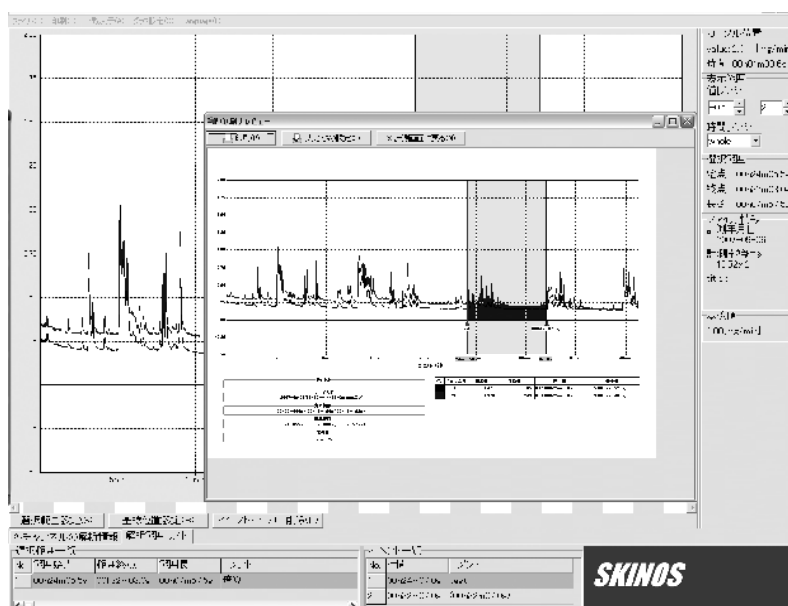


- コメントを入力し、「OK」をクリックします。イベントマーカーのコメントが変更されます。

印刷する

解析結果を印刷します。グラフ、解析数値、イベント情報、ファイル名、解析コメント、基線設定状況が印刷されます。

- 「解析範囲リスト」の「選択範囲一覧」から印刷したい解析結果をクリックします。画面に解析結果が表示されます。
- 値レンジ、時間レンジ等を変更・調整して、「印刷」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

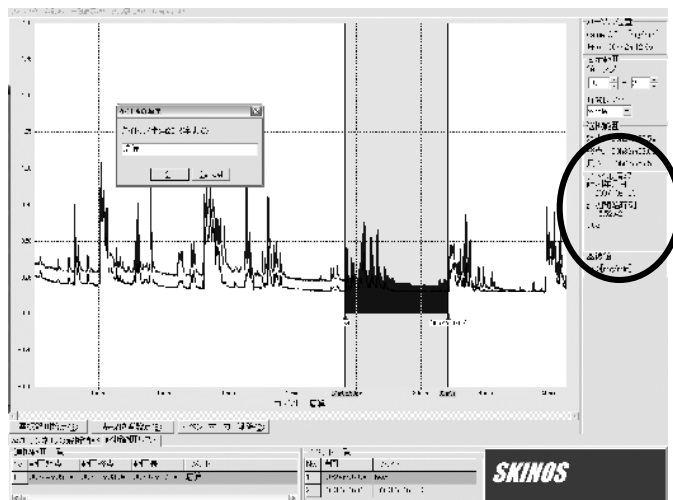


- 必要の場合は「プリンタの設定」を行い、「印刷」をクリックします。

タイトルをつける

ファイル名とは別にタイトルをつけることができます。

- ・「ファイル情報」をクリックすると、タイトルの編集画面が表示されます。タイトルを入力して「OK」をクリックしてください。



解析結果の保存

解析結果を保存します。「ファイル ファイルに名前をつけて保存」を選択し、保存場所を指定して、保存してください。